

金属破断面の解析技術と応力推定/評価法

金属破損事故防止につながる破断面解析

日時
2018年 7月23日 (月)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

税込受講料

1名 48,600円
2名以上1名 45,360円

講座の趣旨・POINT

様々な事故や損傷が起きたとき、必ず「なぜ壊れたのか?」という原因を調べて改善をすることは、とても大切です。しかし、壊れた物から原因の推定するためには、ある程度の知識と経験が必要となります。このセミナーでは、このような知識と経験の浅い方やまだ無い方に、金属の壊れた部分(破断面)の解析の仕方について解説し習得していただきます。

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
機械システム安全研究グループ 博士(工学) 山際謙太氏

プログラム

- ・フラクトグラフィのための基礎知識・基本事項
 - 1.破壊についての基本的な確認
 - 2.フラクトグラフィとは?
 - 3.フラクトグラフィのルーチンワーク a.破面の取り扱い b.防錆剤
 - 4.解析に使用する機器
- ・マクロ破面の観察と典型的な例
 - 1.マクロ破面の観察
 - 2.破壊モードと破面形態
 - a.脆性破壊
 - b.延性破壊
 - c.疲労破壊
 - 3.破面のスケッチ
 - 4.起点の推定法
 - 5.マクロ観察から応力レベルの推定例
- ・ミクロ破面の観察と典型的な例
 - 1.脆性破壊
 - a.劈開(リバーパターン)
 - b.擬劈開
 - 2.延性破壊
 - a.ディンプル
 - b.ストレッチング
 - 3.疲労破壊
 - a.ストライエーション
 - b.ストライエーション状模様
 - c.フィッシュアイ
 - 4.環境破壊
 - a.脆性ストライエーション
 - b.ファンシェーブパターン
 - c.粒界ファセット
 - 5.高温破壊
 - a.ポイド
- ・フラクトグラフィと破壊力学を用いた破面解析法
 - 1.基本事項
 - 2.破面からの応力推定
 - a.延性破面・脆性破面からの応力推定(時間非依存)
 - b.疲労破面(時間依存)からの応力推定
 疲労破面解析手順
 疲労破面からの応力範囲及び繰返し数の推定
 破壊機構マップを活用した応力範囲の推定
 - 3.その他
 - a.フラクトグラフィ データベース
 - b. FRASTA
- ・破損事故解析例
- ・質疑応答 【事前アンケートのご質問について解説致します】

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 金属破断面の解析技術と応力推定/評価法

セミナーコード

1101-180723

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/7/23 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				